

28 防 防 第 8 0 8 号

平成 28 年 1 0 月 2 8 日

一般社団法人東京建設業協会
会 長 飯 塚 恒 生 殿

東京消防庁

防災部長 鈴木 浩永



工事現場付近での落下物・倒壊物に起因した事故の発生状況及び未然防止につ
いて

消防行政の推進につきまして、日頃から格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、東京消防庁では、日常生活で発生した様々な事故に関し、広く都民に周知するとともに、同種の事故防止に努めているところですが、平成28年10月14日に東京都港区六本木において、建物の足場解体中に鉄パイプが落下し、歩道を歩いていた通行人2名が死傷する事故が発生しました。

当庁管内では、工事現場付近での落下物・倒壊物に起因した事故により、平成25年から平成28年9月末までに通行人等の一般の方30人が救急搬送されています(別添え参照)。

つきましては、貴団体加盟の各事業者に対し、この旨を周知いただくとともに、工事現場における事故の未然防止が図られますよう、注意喚起の働きかけをお願い申し上げます。

問合せ先

〒100-8119

東京都千代田区大手町一丁目3番5号

東京消防庁防災部防災安全課

防災安全係 生活安全担当 藤崎 山本 金子

電話 3212-2111(代表)内線 4192 4206 4207

メール bouanka1@tfd.metro.tokyo.jp

【工事現場付近での落下物・倒壊物に起因した事故発生状況】

東京消防庁管内で※、平成25年から平成28年9月末までの間に、工事現場付近での落下物や工事用フェンスの倒壊等に起因した事故のうち、工事現場付近を通行していた一般の方が受傷した事故の発生状況は、次のとおりです。

※ 東京都のうち稲城市、島しょ地区を除く地域

1 年別救急搬送人員

平成25年から平成28年9月末までの間に30人が救急搬送されています(図1)。

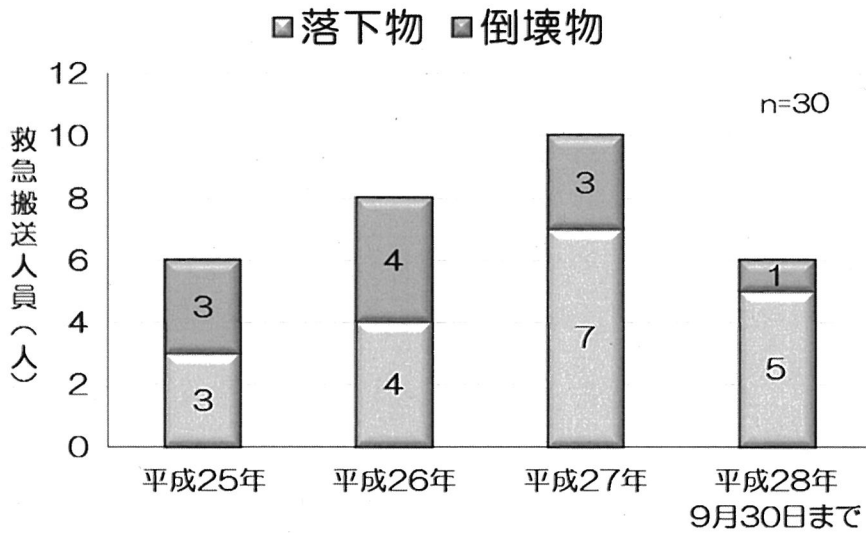


図1 年別救急搬送人員

2 年別救急搬送人員

月別にみると、6月から8月の夏場に多くなっています(図2)。

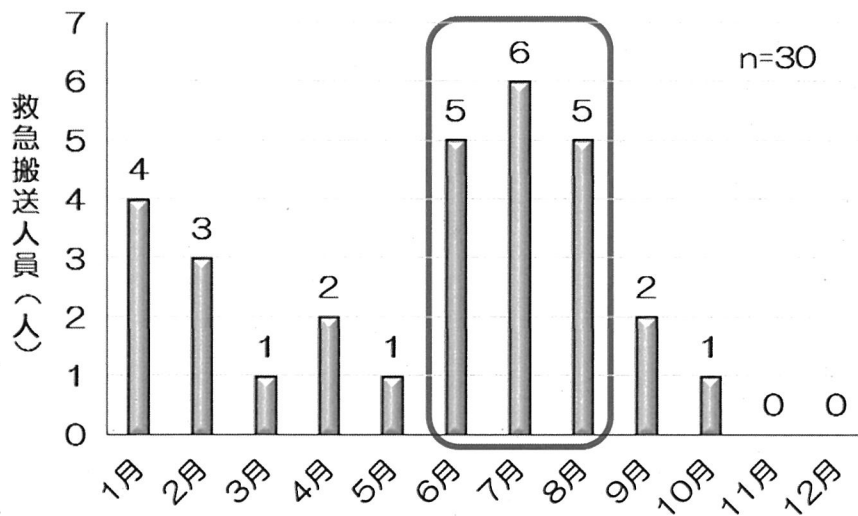


図2 月別救急搬送人員

3 事故に関連する工事関係用品

(1) 落下物による事故

落下物による事故では、単管などの「鉄パイプ類」が、6件で最も多くなっています（図3）。

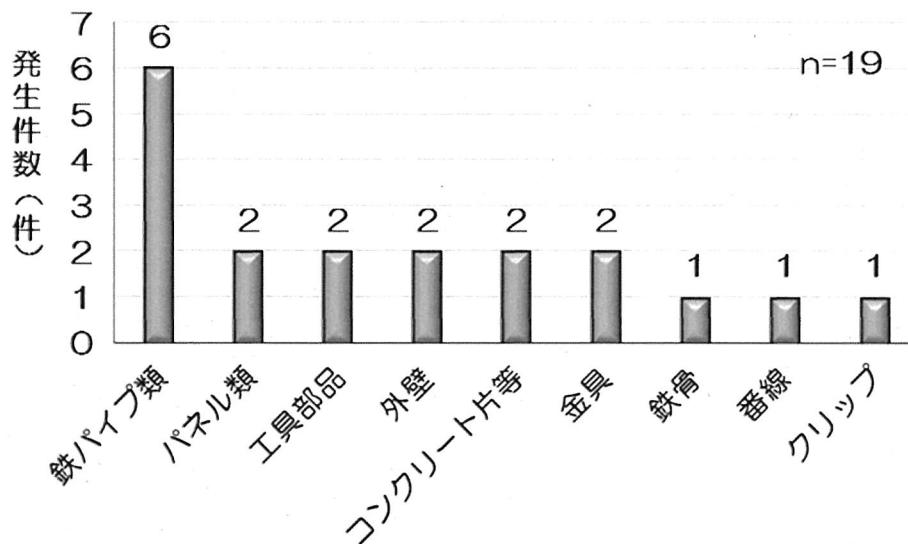


図3 事故に関連する工事関係用品（落下物による事故）
平成25年～平成28年9月末まで

(2) 倒壊物による事故

倒壊物による事故では、足場板などの「鉄製又はアルミ製の板」や「鉄パイプ類」が多く、立てかけていたものが倒れて通行人に接触する事故が目立ちます（図4）。

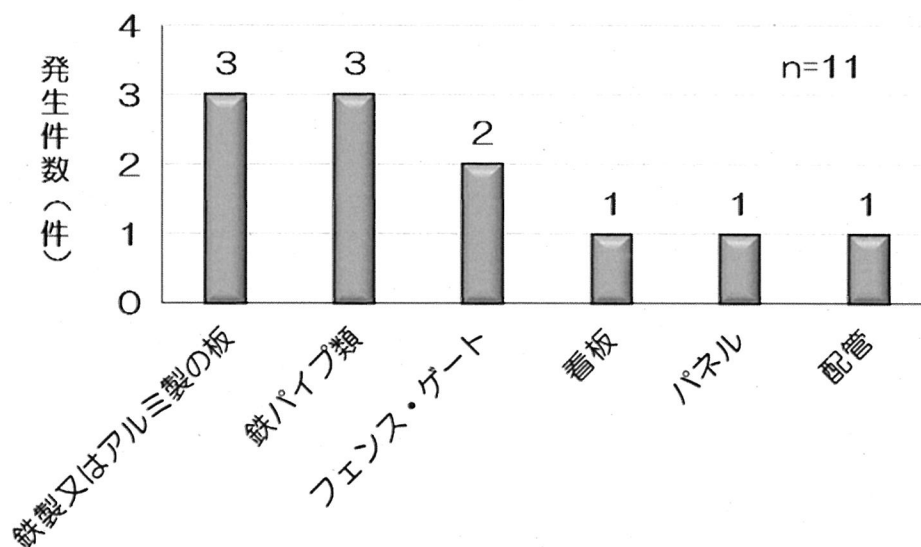


図4 事故に関連する工事関係用品（倒壊物による事故）
平成25年～平成28年9月末まで

4 年齢区分別の初診時程度

(1) 落下物による事故

落下物による事故では、4割近くの方が入院の必要があるとされる中等症以上と診断されています。また、生命の危険があるとされる重症も1人います（表1）。

表1 年齢区分別の初診時程度（落下物による事故）
平成25年～平成28年9月末まで

	軽 症	中等症	重 症	合 計
9歳以下	—	—	—	—
10歳代	2人	—	—	2人
20歳代	2人	1人	—	3人
30歳代	—	1人	—	1人
40歳代	3人	3人	—	6人
50歳代	—	—	—	—
60歳代	1人	—	—	1人
70歳代	3人	1人	1人	5人
80歳代	1人	—	—	1人
合 計	12人	6人	1人	19人

(2) 倒壊物による事故

倒壊物による事故では、ほとんどが軽症ですが、2人が入院の必要があるとされる中等症以上と診断されています。（表2）。

表2 年齢区分別の初診時程度（倒壊物による事故）
平成25年～平成28年9月末まで

	軽 症	中等症	重 症	合 計
9歳以下	1人	—	—	1人
10歳代	—	1人	—	1人
20歳代	—	—	—	—
30歳代	1人	1人	—	2人
40歳代	1人	—	—	1人
50歳代	3人	—	—	3人
60歳代	2人	—	—	2人
70歳代	—	—	—	—
80歳代	1人	—	—	1人
合 計	9人	2人	—	11人

5 事故事例

落下物による事故	<p>【事例1】 工事中の建物から鉄骨（長さ約2m、幅約10cm、重さ30kg）が歩道上へ落下した。歩道上で跳ね返った鉄骨が、歩行中の男性の頭部に接触し受傷した。（平成25年4月 78歳 男性 重症）</p>
	<p>【事例2】 4階建てビルの3階において、内装工事のため屋外部分に足場を設定する作業を行っていたところ、作業員が誤って長さ4mの鉄製の単管を地面に落下させ、下を歩いていた通行人女性の左足部を直撃し受傷した。（平成27年1月 27歳 女性 中等症）</p>
	<p>【事例3】 工事現場で、高さ18mくらいからラチェットの部品が落下し、通行人の肩にぶつかり受傷した。 （平成27年6月 45歳 男性 中等症）</p>
	<p>【事例4】 工事現場東側の道路で、歩道を歩行中、工事現場の高さ約8mから落下したアルミ製のパネルが衝突し受傷した。 （平成27年8月 71歳 男性 中等症）</p>
	<p>【事例5】 歩道を歩行中、解体工事中の建物を通り過ぎようとした際に、鉄筋が頭部に落ち受傷したもの。受傷した。 （平成28年6月 48歳 男性 中等症）</p>
倒壊物による事故	<p>【事例6】 路上を歩行中に、工事現場で立てかけてあった鉄製の板が倒れてきて受傷した。（平成25年1月 17歳 女性 中等症）</p>
	<p>【事例7】 路上を歩行中に、突然、住宅前に組まれていた鉄パイプの足場が倒れてきて、その際に巻き込まれ、転倒し受傷したもの。 （平成26年1月 84歳 男性 軽症）</p>
	<p>【事例8】 歩道上で三輪車に乗っていた女兒に路上に立てかけてあった工事用の看板が倒れ受傷した。（平成26年9月 1歳 女兒 軽症）</p>
	<p>【事例9】 歩道上を自転車で走行中に工事現場の鉄板が倒れ、身体に接触したため、自転車が転倒し受傷した。 （平成27年8月 57歳 女性 軽症）</p>